

業績説明会資料

# 2026年3月期(2025年度)決算

2026年5月22日

 **日油** 株式会社

# 目次

1. 2026年3月期(2025年度)連結決算 P4 ~ 8
2. 2027年3月期(2026年度)業績予想 P10 ~ 14

# 目次

1. 2026年3月期(2025年度)連結決算 P4 ~ 8
2. 2027年3月期(2026年度)業績予想 P10 ~ 14

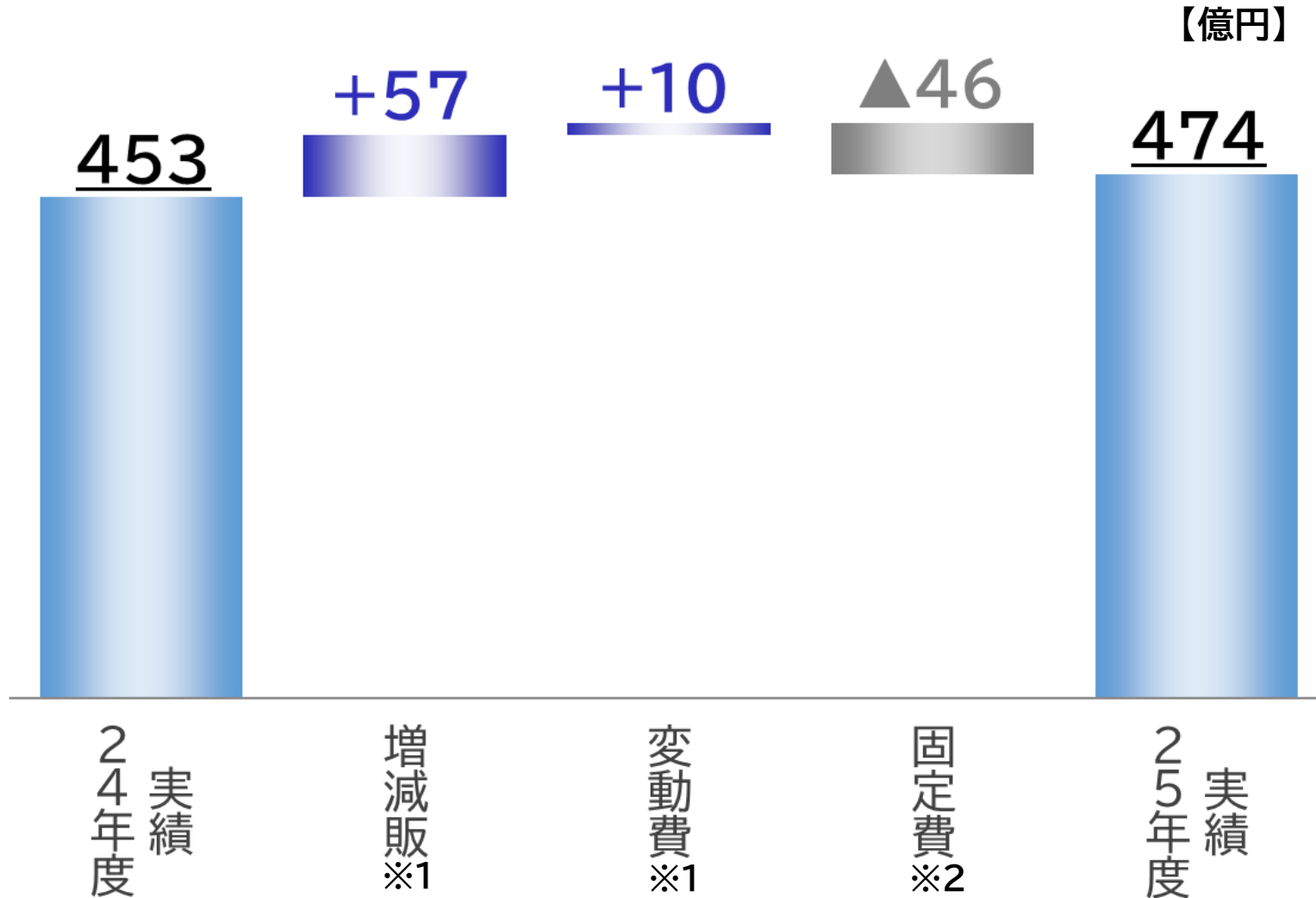
# 2025年度業績概要

売上高、営業利益、経常利益および当期純利益全て過去最高を更新  
年間配当金は、16円増配となる61円

	2024年度 実績	2025年度 実績	増減額	2025年度 予想(2/13)	増減額
売上高	2,383	2,580	+197	2,605	▲25
売上総利益 (売上総利益率)	852 (35.7%)	891 (34.5%)	+39		
販売費・管理費	398	417	+18		
営業利益 (営業利益率)	453 (19.0%)	474 (18.4%)	+21	460 (17.7%)	+14
経常利益	466	504	+38	495	+9
当期純利益*	365	406	+41	394	+12
1株当たり 当期純利益	153.9円	176.3円	+22.5円	171.2円	+5.1円
※ 当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益					
1株当たり 配当金	45円	61円	+16円	61円	—

# 連結営業利益の差異内訳

2025年度実績 対 2024年度実績



※1 増減販及び変動費には、計+1億円の為替影響を含む

※2 固定費には、計+11億円の棚卸影響を含む

# 機能化学品事業

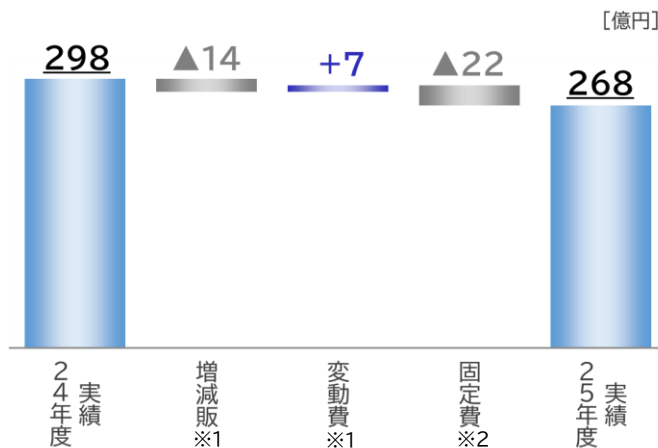
## 2025年度の概況

- ◆ 減収減益
- ◆ 一部を除き全般的に低調

【億円】

	2024年度実績			2025年度実績			増減額		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	755	755	1,509	691	767	1,458	▲64	+12	▲52
営業利益	160	138	298	123	145	268	▲37	+7	▲30
(営業利益率)	(21.3%)	(18.2%)	(19.7%)	(17.9%)	(18.9%)	(18.4%)			

### 営業利益差異内訳(通期)



※1 増減販及び変動費には、計▲0億円の為替影響を含む

※2 固定費には、計+0億円の棚卸影響を含む

### 売上高増減の主な要因(対前期)

- **化粧品関連製品**  
一部顧客における在庫調整により出荷減
- **特殊防錆処理剤**  
国内外向け自動車関連製品の需要が好調に推移
- **その他機能化学品全般**  
脂肪酸誘導体など概ね低調

# 医薬・医療・健康事業

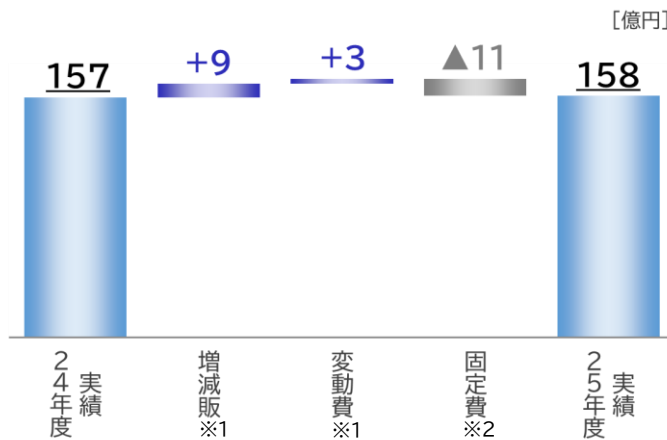
## 2025年度の概況

◆ 増収増益

◆ DDS医薬用製剤原料の一部顧客向けの出荷が想定を下回るも、全体としては底堅く推移 **【億円】**

	2024年度実績			2025年度実績			増減額		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	230	250	480	250	249	499	+20	▲1	+19
営業利益	81	76	157	84	75	158	+3	▲2	+1
(営業利益率)	(35.1%)	(30.5%)	(32.7%)	(33.4%)	(29.9%)	(31.7%)			

### 営業利益差異内訳(通期)



※1 増減販及び変動費には、計+1億円の為替影響を含む

※2 固定費には、計+8億円の棚卸影響を含む

### 売上高増減の主な要因(対前期)

- DDS医薬用製剤原料**  
 一部顧客における上市製品の市場展開の遅延による需要減  
 当社製品の最低購入量契約に伴う違約金の受領
- 食用加工油脂・食品機能材**  
 原燃料価格の上昇を受け、適正価格維持に努めた
- 生体適合性素材**  
 MPC関連製品の需要が低調に推移

# 化薬事業

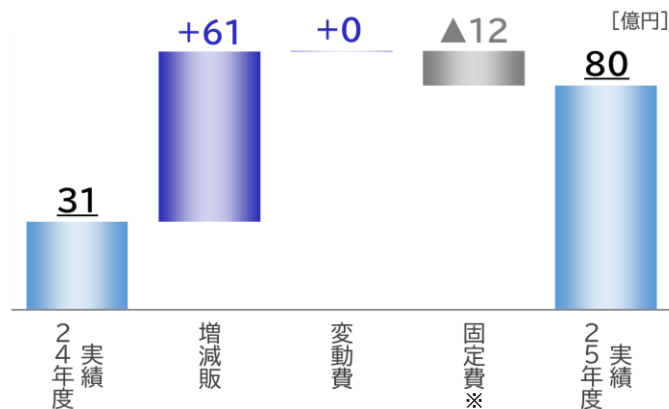
## 2025年度の概況

- ◆ 増収増益
- ◆ 防衛関連製品の売上高が増加

【億円】

	2024年度実績			2025年度実績			増減額		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	117	271	388	147	470	617	+31	+198	+229
営業利益	7	24	31	13	67	80	+6	+43	+48
(営業利益率)	(6.2%)	(8.9%)	(8.1%)	(8.8%)	(14.2%)	(12.9%)			

### 営業利益差異内訳(通期)



※ 固定費には、計+3億円の棚卸影響を含む

### 売上高増減の主な要因(対前期)

- **防衛関連製品**  
早期装備化に係る一部取引(履行義務に応じて収益を認識する契約取引)において、収益及び費用を計上
- **宇宙関連製品**  
ロケット向け製品の出荷が堅調に推移

# 目次

1. 2026年3月期(2025年度)連結決算 P4 ~ 8
2. 2027年3月期(2026年度)業績予想 P10 ~ 14

# 2026年度業績予想の概要

売上高、営業利益、経常利益にて過去最高を更新する計画  
中東情勢の緊迫化に伴う影響は、顕在化している分を業績見通しに織り込む

【億円】

	2025年度 実績	2026年度 予想	増減率
売上高	2,580	3,190	+23.7%
営業利益	474	500	+5.5%
(営業利益率)	(18.4%)	(15.7%)	
経常利益	504	510	+1.3%
当期純利益※	406	390	▲3.8%
1株当たり 当期純利益	176.3円	169.6円	

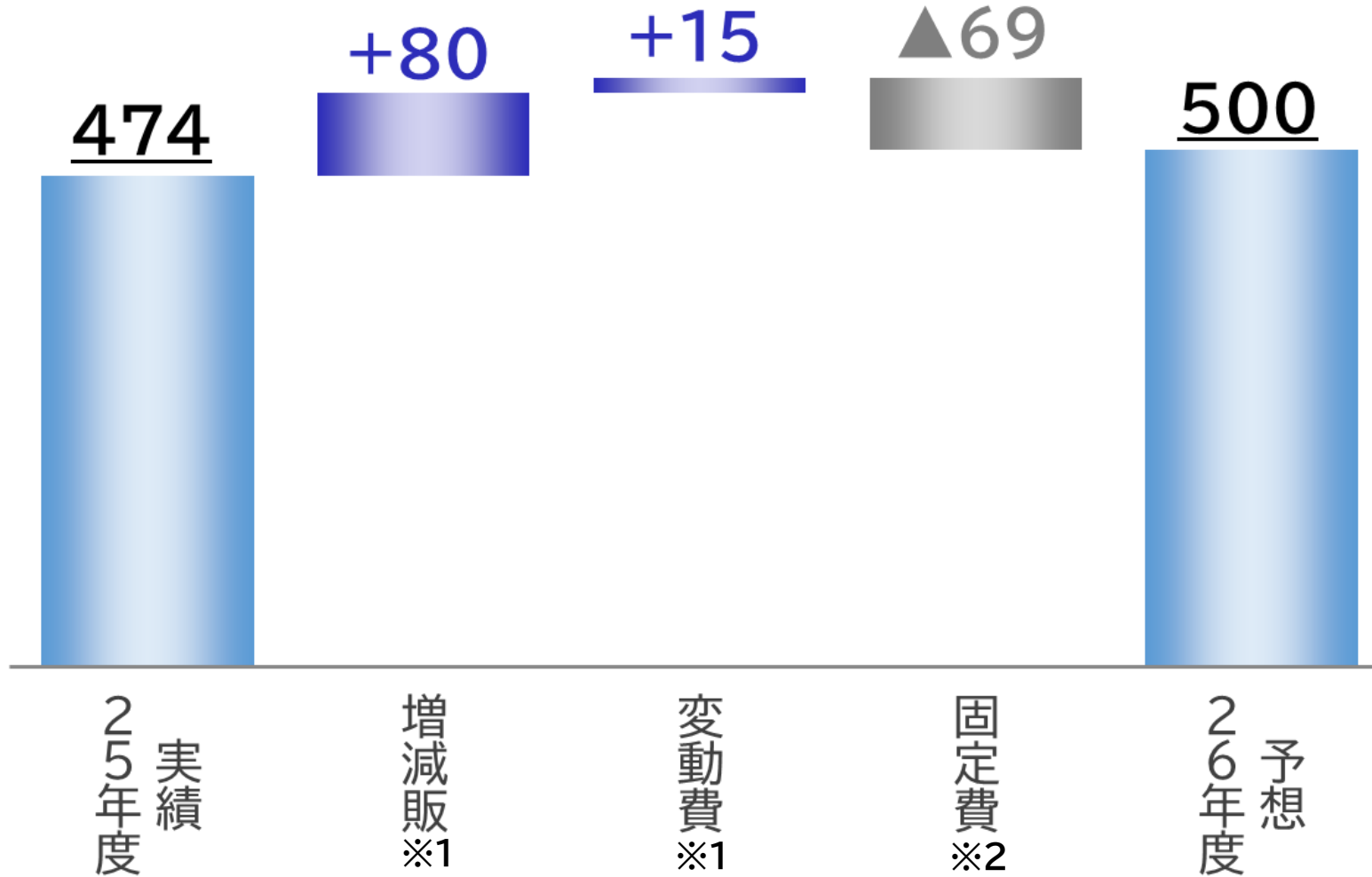
※当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

<業績予想 前提>		2025年度 実績	2026年度 想定
為替レート	円/US\$	150	150
	円/EUR	174	180

# 連結営業利益の差異内訳

2026年度予想 対 2025年度実績

【億円】



※1 増減販及び変動費には、計+1億円の為替影響を含む

※2 固定費には、計▲1億円の棚卸影響を含む

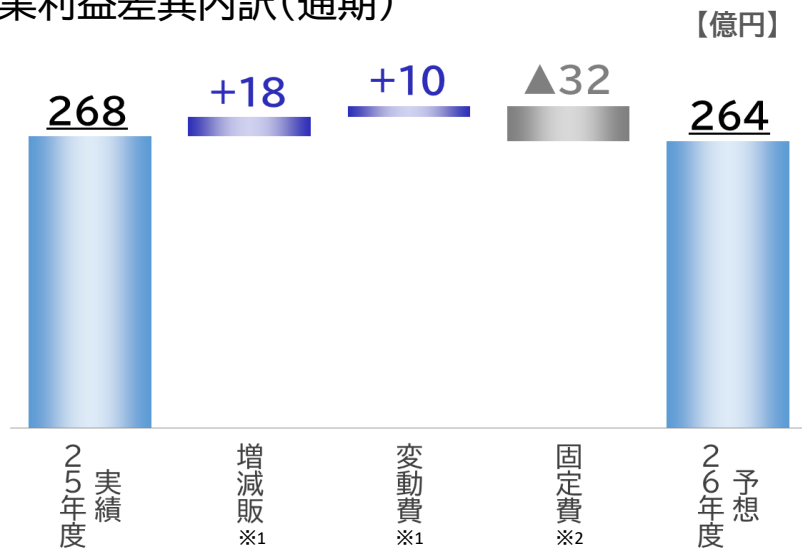
## 2026年度予想の概況

	【億円】		
	2025年度 実績	2026年度 予想	増減額
売上高	1,458	1,555	+97
営業利益	268	264	▲4
(営業利益率)	(18.4%)	(17.0%)	

## 2026年度予想

- ◆ 増収減益
- ◆ 中東情勢に伴う原燃料高やサプライチェーン影響を想定
- ◆ 化粧品関連製品、特殊防錆処理剤の需要が堅調

### 営業利益差異内訳(通期)



※1 増減販及び変動費には、計+1億円の為替影響を含む

※2 固定費には、計▲2億円の棚卸影響を含む

## 市場環境・取組み

- **化粧品関連製品**  
植物由来原料などの環境対応型原料や高機能製品(高保湿、高機能UV製品など)に注力
- **特殊防錆処理剤**  
世界の自動車生産台数にて伸び悩みが想定されるものの自動車関連製品におけるシェアの維持・拡大や非自動車分野での拡販等により、成長を継続
- **その他機能化学品全般**  
原燃料高騰に対する価格対応、サプライチェーン影響を織り込む

# 医薬・医療・健康事業

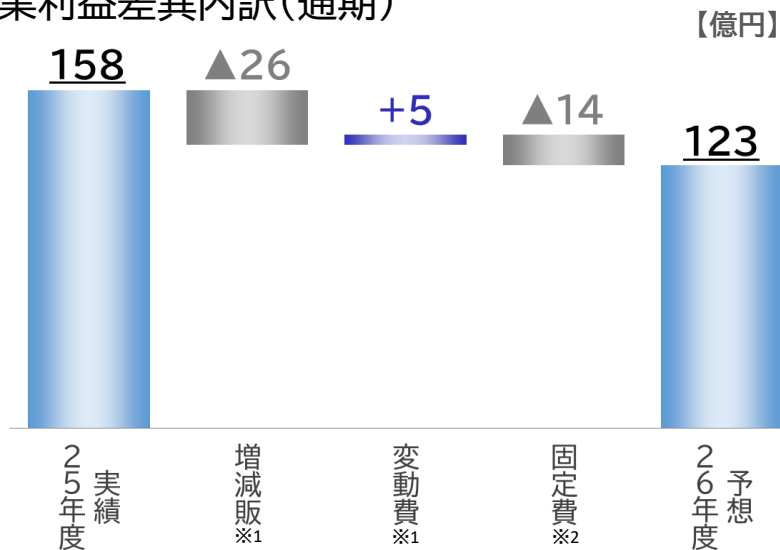
## 2026年度予想の概況

	【億円】		
	2025年度 実績	2026年度 予想	増減額
売上高	499	502	+3
営業利益	158	123	▲35
(営業利益率)	(31.7%)	(24.5%)	

## 2026年度予想

- ◆ 増収減益
- ◆ DDS医薬用製剤原料の一部顧客における上市製品の市場展開の遅延影響が継続
- ◆ LS愛知工場の減価償却費等の固定費増加

### 営業利益差異内訳(通期)



※1 増減販及び変動費には、計+0億円の為替影響を含む

※2 固定費には、計+1億円の棚卸影響を含む

## 市場環境・取組み

- **DDS医薬用製剤原料**  
ペプチド医薬等の新規モダリティ<sup>※</sup>となる医薬品用需要の取り込みを推進  
LS愛知工場の安定供給体制構築  
バイオベンチャーの臨床開発遅延影響の継続
- **食用加工油脂・食品機能材**  
原燃料高が見込まれるものの適正価格を維持  
食品機能材の拡販を実施
- **生体適合性素材**  
コンタクトレンズ関連素材の拡販

※モダリティ:医薬品の創薬基盤技術の方法・手段

# 化薬事業

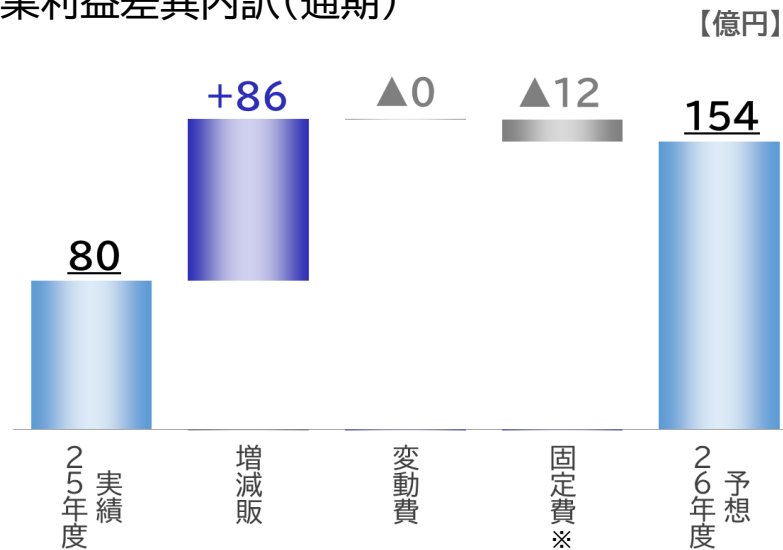
## 2026年度予想の概況

	【億円】		
	2025年度 実績	2026年度 予想	増減額
売上高	617	1,128	+511
営業利益	80	154	+74
(営業利益率)	(12.9%)	(13.7%)	

## 2026年度予想

- ◆ 増収増益
- ◆ 防衛関連製品では早期装備化に係る一部取引(履行義務に応じて収益を認識する契約取引)において、進捗に応じて収益・費用を計上

### 営業利益差異内訳(通期)



※ 固定費には、計+0億円の棚卸影響を含む

## 市場環境・取組み

- 防衛関連製品  
早期装備化設備に係る工事を着実に推進  
防衛関連製品の需要が堅調に推移
- 宇宙関連製品  
H3ロケットの打ち上げ再開による、ロケット向け製品の出荷増

# Appendix

# 2025年度通期 前期比の業績動向(主要製品)

セグメント	主要製品	売上高	営業利益	業績動向
機能化学品	界面活性剤			化粧品関連製品の一部顧客における在庫調整に伴う出荷減により減益
	特殊防錆処理剤			国内外の自動車関連製品の出荷が好調に推移し増益
	脂肪酸誘導体			中国における冷凍機用潤滑基材の出荷が低調に推移
医薬・医療・健康	DDS医薬用製剤原料			一部顧客における上市製品の市場展開の遅延による需要減があったものの、その他顧客向け製品が堅調に推移したこと等により、昨年度並みを維持
	食用加工油脂・食品機能材			原燃料価格上昇を受け適正価格維持に努めた
化薬	防衛関連製品			早期装備化の初度費に係る収益および防衛関連製品全般の堅調な需要により増益
	宇宙関連製品			ロケット向け製品の出荷が増加し、増益

# 設備投資・研究開発

## 設備投資の実績・予定

	【億円】	
	2025年度 実績	2026年度 予定
設備投資 ※1	344	705
減価償却費	221	675

※1 検収ベース

## 研究開発費の実績・予定

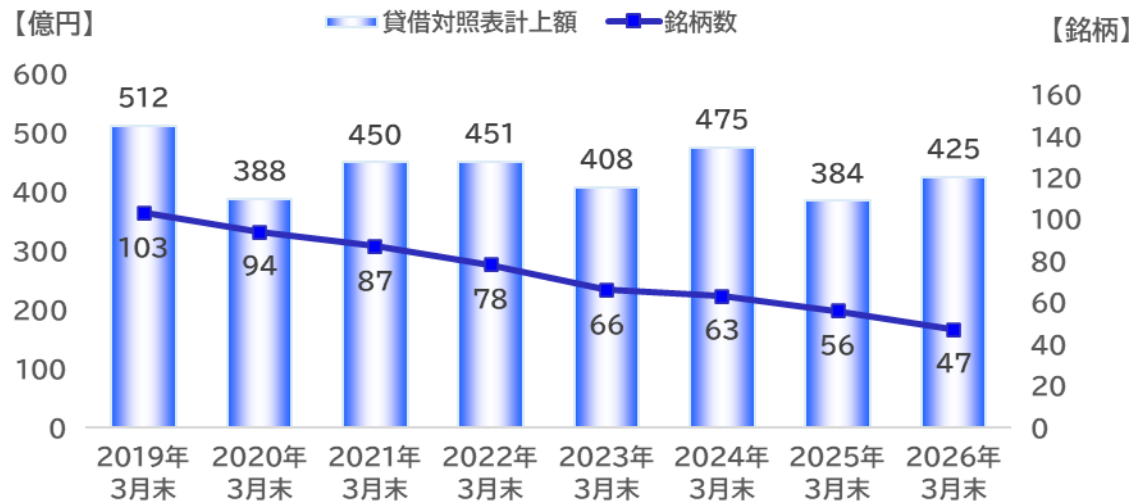
	【億円】	
	2025年度 実績	2026年度 予定
機能化学品	40	42
医薬・医療・健康	19	19
化薬	13	13
共通(コーポレート)※2	10	15
グループ合計	81	89

※2 産学連携とスタートアップとの協業を含む

# 政策保有株式の縮減方針

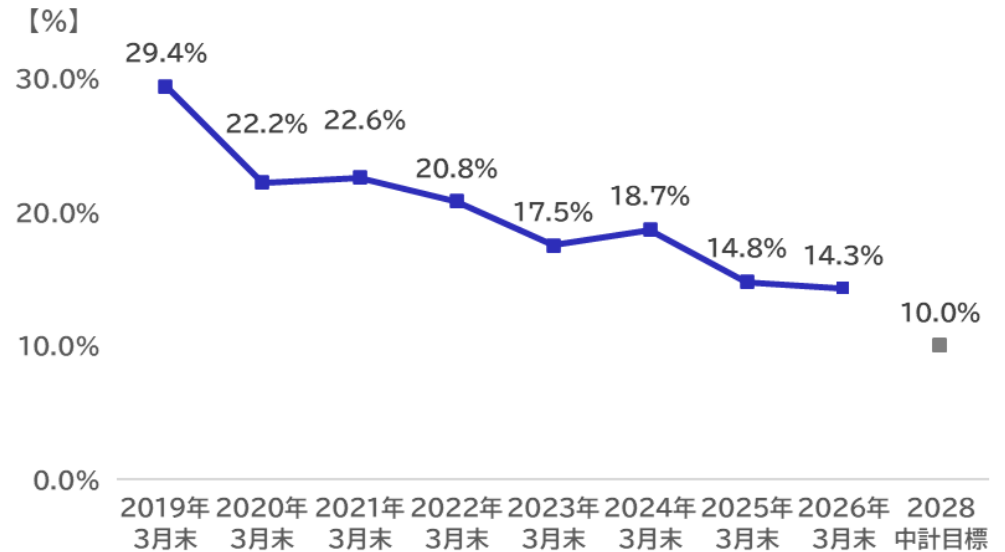
2025中計での政策保有株式純資産比率15%以下の目標を達成  
 2028中計においては政策保有株式純資産比率10%以下に向けて、政策保有株式の縮減を進める

## 政策保有株式の保有状況の推移



## 連結純資産比率※の推移

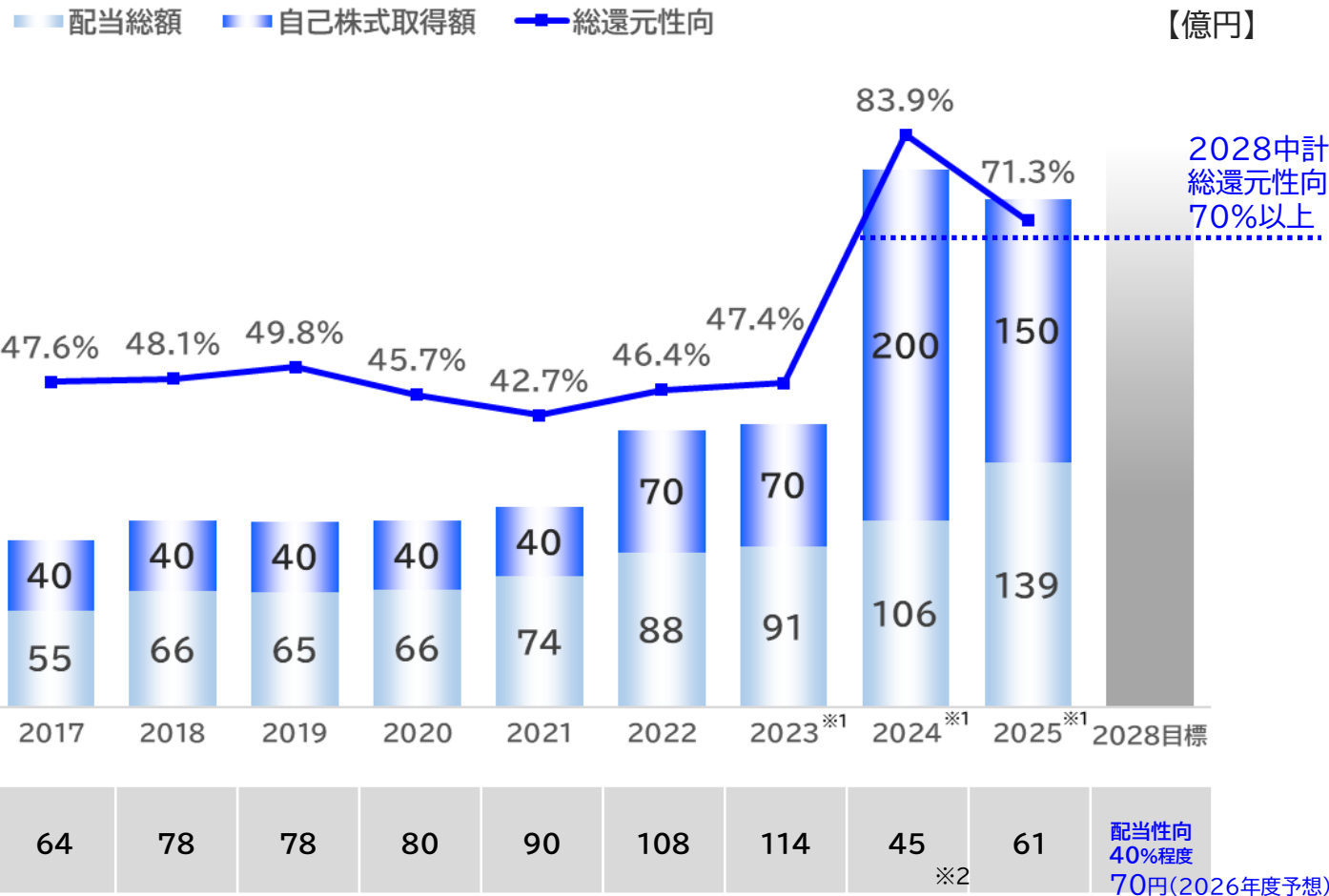
2025年度は9銘柄削減、6銘柄一部売却により純資産比率は14.3%へ減少



※政策保有株式の貸借対照表計上額および  
 みなし保有株式の合計額を純資産で除した比率

# 株主還元方針

中長期的な累進配当を目指すとともに、資本効率の向上に向けて機動的な自己株式の取得を検討するなど、将来の成長投資とのバランスをとりながら、今後も安定的な利益還元を実施



## 株主還元方針

中期的なFCFの見通し、財務健全性、成長投資と株主還元とのバランスなどから株主還元の水準を判断する

2025年度実績から+約10%となる配当性向 **40%程度**を目安とし、安定的な配当の維持継続を基本に、中長期的な累進配当を目指す

資本効率向上に向け自己株式取得 **総還元性向 70%以上**を目安に 2028中計期間は株主還元を拡大

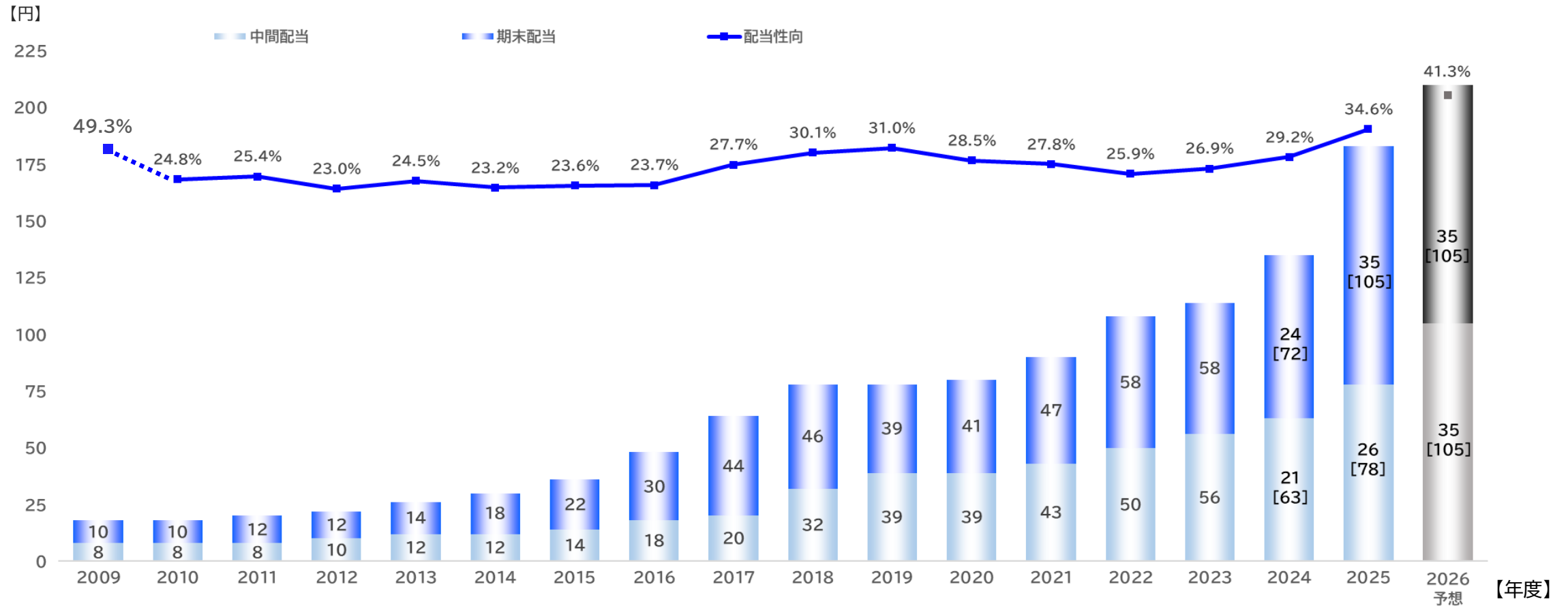
※1 本決算発表時の自己株式取得決定額は、当該本決算年度の取得額として集計

※2 2024年4月1日付で普通株式1株を3株に分割

# 株主還元 配当性向

2026年度の年間配当は、70円を予定

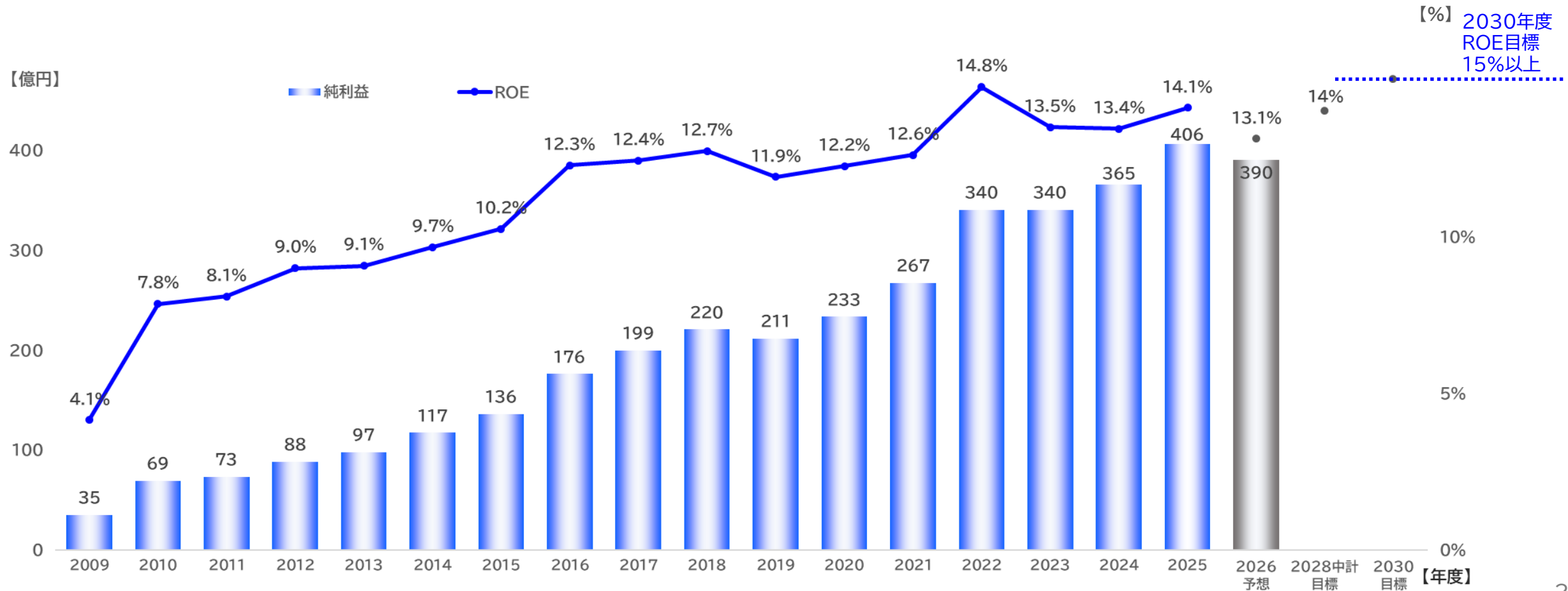
2028中計においては配当性向**40%程度**を目安とし、安定的な配当の維持継続を基本に、中長期的な累進配当を目指す



(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2017年度中間配当以前の配当金について、普通株式2株につき1株の割合で株式併合した場合の額を記載しております。また、2024年4月1日付で普通株式1株を3株に分割を行っております。2024年度以降の【】内は、分割前換算値を記載しております。またグラフは、分割前換算値により作成しております。

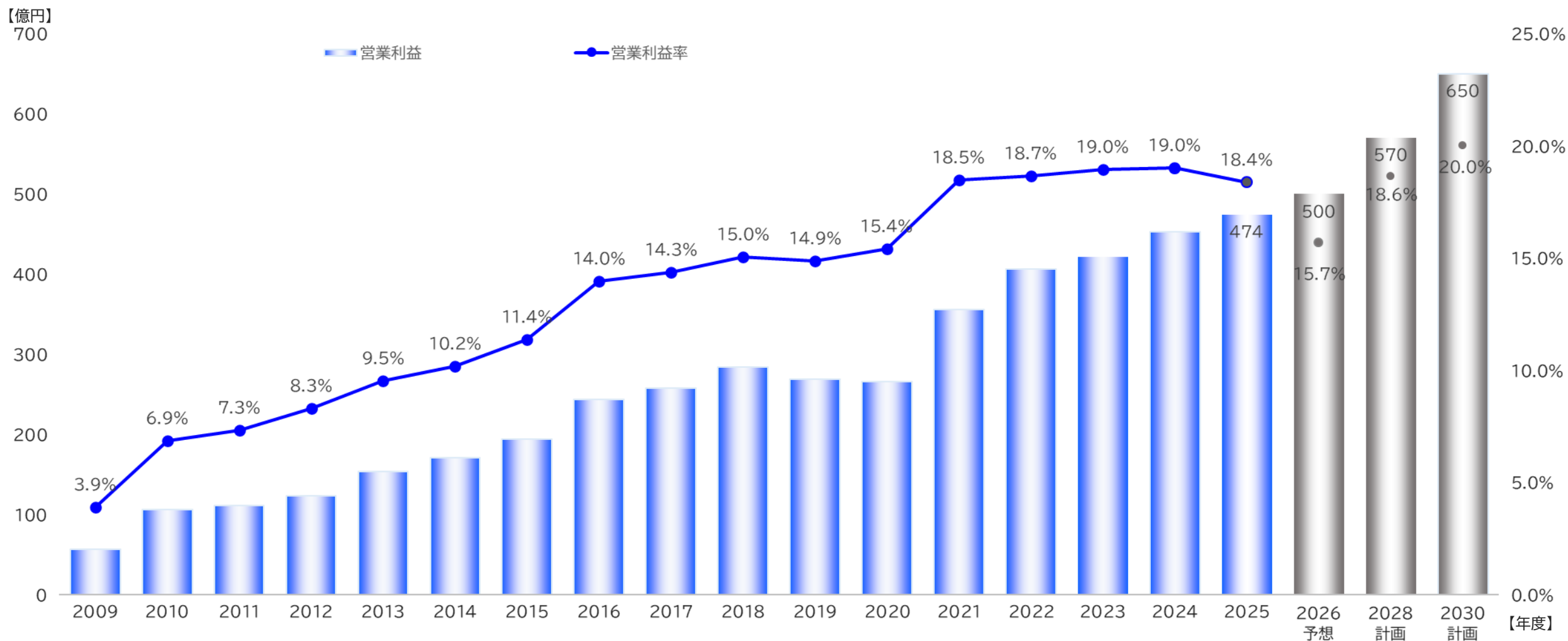
# ROE

2025年度は2025中期経営計画におけるROE目標12%以上を達成  
 2026年度のROE予想は13.1%  
 2028中計では、ROE目標を14%以上と、目標値の引き上げを実施  
 2030年度は新たにROE目標15%以上を設定



# 業績推移

汎用品から高付加価値製品へのシフトおよび成長分野への拡販により、営業利益および営業利益率を拡大



# 日油グループの事業構成

国内外の幅広い業界の顧客と接点、他社と競合しないニッチ・ハイエンド市場への製品展開を志向  
シクリカルな事業とディフェンシブな事業のバランスによる景気の変動に対する耐性

セグメント	事業分類	製品分類	代表的な製品
機能化学品	機能材料事業	脂肪酸・脂肪酸誘導体	脂肪酸、グリセリン、潤滑剤、冷凍機用潤滑基材、トナー用添加剤
		界面活性剤	化粧品ODM製品、化粧品原料
		EO・PO誘導体	基礎化粧品原料、電子材料素材
		有機過酸化物	樹脂の重合開始剤
		石油化学品	ポリブテン
		機能性ポリマー	防曇剤、樹脂用機能性添加剤
	防錆事業	特殊防錆処理剤	水系完全クロムフリー防錆剤(ジオメット®)
医薬・医療・健康	機能食品事業	食品機能材、食用加工油脂	機能性油脂、改質材、マーガリン、ショートニング
		健康関連製品	健康関連素材、油脂コーティング製品
	ライフサイエンス事業	生体適合性素材	MPCポリマー、MPCモノマー
		DDS医薬用製剤原料	活性化PEG、機能性脂質、医薬用高純度界面活性剤
化薬	化薬事業	産業用爆薬類	含水爆薬、電気雷管
		宇宙関連製品	宇宙ロケット用固体推進薬、宇宙用火工品
		防衛関連製品	防衛用発射薬、防衛用推進薬、防衛用火工品
		機能製品	示温材、防犯機器、液状凍結防止剤、海洋機器

# 連結貸借対照表

【億円】

	25年 3月末	26年 3月末	増減額		25年 3月末	26年 3月末	増減額
現預金	871	884	+13	仕入債務	239	219	▲20
売上債権	628	785	+157	有利子負債	50	51	+1
棚卸資産	573	643	+70	繰延税金負債	116	96	▲20
その他流動資産	48	56	+8	その他	372	661	+289
有形・無形 固定資産	870	986	+116	(負債)	(776)	(1,027)	(+251)
投資有価証券	419	461	+42	株主資本	2,467	2,557	+90
その他	163	176	+13	その他の包括利 益累計額	318	397	+79
				非支配株主持分	10	11	+1
				(純資産)	(2,796)	(2,965)	(+169)
資産	3,572	3,992	+420	負債・純資産	3,572	3,992	+420

# 連結キャッシュ・フロー計算書

【億円】

	2024年度	2025年度
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	290	359
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲137	▲44
投資有価証券売却	52	108
固定資産取得	▲163	▲144
その他	▲26	▲8
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲220	▲314
長期・短期借入金の変動	▲2	0
自己株式取得	▲120	▲200
配当金の支払	▲96	▲115
その他	▲2	1
4. その他	20	2
1~4の計	▲48	3
5. 期末残高	827	830
フリー・キャッシュ・フロー	152	314

# 指標推移(1)

		2024年度	2025年度	前期比
売上高営業利益率	[%]	19.0	18.4	▲0.6
売上高経常利益率	[%]	19.5	19.5	▲0.0
ROA (総資産経常利益率)	[%]	13.3	13.3	▲0.0
ROE (自己資本当期純利益率)	[%]	13.4	14.1	+0.7
D/E レシオ	[倍]	0.02	0.02	▲0.00
自己資本比率	[%]	78.0	74.0	▲4.0

## 指標推移(2)

		2024年度	2025年度	前期比
1株当たり当期純利益	[円]	153.9	176.3	+22.5
1株当たり純資産	[円]	1,192.7	1,304.3	+111.7
1株当たり配当	[円]	45	61	+16
配当性向	[%]	29.2	34.6	+5.3
3月末当社株価	[円]	2,020.0	3,101.0	
	cf. 日経平均株価	35,618	51,064	
株価純資産倍率(PBR)	[倍]	1.69	2.38	+0.68
株価収益率(PER)	[倍]	13.1	17.6	+4.5

- ・本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。
- ・本資料の金額表示は、億円未満を四捨五入しております。

お問い合わせ先： 日油株式会社  
コーポレート・コミュニケーション部 IR室 佐藤 一大

住 所： 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号

電 話： 03-5424-6651

F A X： 03-6634-6471

E - m a i l： iroffice@nof.co.jp

ホ ー ム ペ ー ジ： <https://www.nof.co.jp>